

## 令和7年度 PFOS、PFAS 浄水水質検査結果

採水日	項目	目標値および単位	検査結果	
令和7年5月8日	パルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及び パルフルオロオクタン酸 (PFOA)	0.00005mg/ℓ以下 (50ng/ℓ以下) (暫定)	東大久保浄水場 (浄水)	0.000012mg/ℓ (12ng/ℓ)
			水谷浄水場 (浄水)	0.000013mg/ℓ (13ng/ℓ)
令和7年8月7日			東大久保浄水場 (浄水)	0.000007mg/ℓ (7ng/ℓ)
			水谷浄水場 (浄水)	0.000009mg/ℓ (9ng/ℓ)
令和7年11月13日			東大久保浄水場 (浄水)	0.000010mg/ℓ (10ng/ℓ)
			水谷浄水場 (浄水)	0.000012mg/ℓ (12ng/ℓ)
令和8年2月12日			東大久保浄水場 (浄水)	0.000010mg/ℓ (10ng/ℓ)
			水谷浄水場 (浄水)	0.000012mg/ℓ (12ng/ℓ)

検査機関 内藤環境管理株式会社

### PFOS・PFOAとは

ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) とペルフルオロオクタン酸 (PFOA) は、いずれも有機フッ素化合物の一種です。独特の性質 (水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しない等) を持ち、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤等に用いられてきました。

有機フッ素化合物による人の健康への影響は、まだ研究段階です。しかし、PFOSやPFOAは安定な構造であるため環境中で分解されにくく、蓄積性を有することから、現在、国内外において製造・使用等が規制されています。

PFOS・PFOAは、令和2年4月に厚生労働省において、水道水の水質管理目標設定項目として、暫定目標値「50ng/L (PFOSとPFOAの合計値) 以下」が設定されました。目標値は、「体重50kgの人が、一生涯にわたり1日2Lの水を毎日摂取し続けても、健康への悪影響がないと推定される濃度」として算定されています。